

青少年海外研修事業レポート



昨年8月3日から14日までの12日間の日程で実施した「平成29年度最上町青少年海外研修事業」に、町内在住の高校生5名が参加しました。訪問先は、カナダのオンタリオ州トロント市。昨年11月18日に開催された“明日をきづく青少年のつどい”の中でも研修の成果について英語のスピーチを中心とした発表がありましたが、高校生が現地でホームステイをしながら、英会話レッスンや現地の文化・自然を体験し、学んだことについて下記にご紹介します。

今回で4回目となる本事業は、英語によるコミュニケーション力と国際感覚を高め、グローバルなリーダーシップを発揮できる力を付けること、また、他県から参加する同年代との交流を通して、広い視野と多様な価値観を身に付け、自ら問題を発見し考え伝えられる力を付けることを目的に実施しているものです。さらに、研修全体の学びを通じて、郷土の魅力と再認識し、ふるさとに愛着と誇りをもてる次世代の担い手を育成することをねらいとしています。



「カナダでの研修を通して」

伊藤 哉翔(県立新庄北高等学校2年)



私は今回の研修での様々な体験を通して、多くのことを学び、発見することができました。一つ目に、私は伝えようとする大切さを学びました。私は出発前に、自分の英語力で相手に伝わるのか、という不安を抱えていました。しかし、その不安はすぐに解消されました。ホストファミリーと話をしたい、パディと仲良くなりたい、その思いで話をしていると次第に英語が聞き取れるようになり、ジェスチャーを使ったり、表現を工夫することで、現地の方々との会話を楽しむことができました。

二つ目に、日本との文化の違いについて学びました。文化が変われば、考え方も違ってきます。遠慮せずに、自分の意思を相手に伝えることが大切だと思いました。生活の中で、食文化の違いや、習慣の違い、そういった日本との違いに気付いていく中で、カナダの良さを感じると同時に、外から見て初めて気付く日本の良さも感じるようになりました。

今回の研修を通して、カナダの人々のあたたかさ、文化や価値観の違い、英語力、多くのことを学び、得ることができました。また、日本を離れ、海外から日本を見た時に、ふるさとのあたたかみ、すばらしさを再認識することもできました。これからのグローバル社会では、広い視野で物事を捉えることが大切になると思います。そういった意味でも、今回の経験は私にとって大きな自信になりました。

今回の研修で得たつながり、絆を大切に、この経験をこれからは生かしていきたいと思っています。

「“推察力”と“忍耐力”」

菅 千晶(県立新庄北高等学校2年)



「英語力よりも推察力が磨かれた」姉のこの一言で私もそんな経験がしてみたいと思い、この海外研修事業に参加しようと決意しました。

しかし、振り返ってみると私の中で磨かれたのは「推察力」と「忍耐力」の2つだったように思います。私は英語で会話している時に、初めのうちは自分の思いや考えを完璧に英訳しようとしていたため、すぐに会話に置いていかれてしまいました。そのため、ファミリーと会話することが辛く感じ、会話をためらうことがありました。そんな時に、一緒にホームステイしていた子に「カナダでしか出来ないことをしよう」と励ましてもらい、伝わらなくてもたくさん話しかけようと思えました。

話しかけてみると、何を言われたのか分からないこともたくさんありましたが、自分の発信した思いがちゃんと相手に届いた時の感動は何にも代えがたいものでした。この感動は、日本に住んでいただけでは決して味わえなかったものだと思います。

日本人は世界的にみて謙虚な人種だとよく言われ、それが日本人らしさであることも間違いではないと思います。一方で、謙虚さのあまり「はい・いいえ」を曖昧に濁してしまったり、否定されるのを恐れて自分の意見を持つとしないことがあります。私もこの研修に参加する前まではそうでした。しかし、今は違います。相手の言ったことの意味を多方面から「推察」すると同時に、自分の想いをうまく伝えられなくても「忍耐」強く諦めずに挑戦することの大切さをこの研修で学んだからです。日本から少し離れて、初めて気づいた「推察力」と「忍耐力」の大切さ。この2つの力はこれからの私の基礎となる部分だと私は思います。2つの力とカナダで想いが届いた時の感動を忘れず、人の想いを汲み取り、自分の想いをうまく伝えられる人間になっていきたいと思いました。

「英語と異文化にふれて」

野口 圭(県立新庄北高等学校2年)



「自分の新たな可能性を見出し、価値観を大きく変える機会にしたい。」

このような思いを抱き、心待ちにしていた海外研修でしたが、初めての海外ということで、自分の英語は通じるのか、ホストファミリーとうまくコミュニケーションがとれるのかなど、不安も少なからずありました。しかし、実際に研修が始まってみると、あっという間に時間が過ぎて行きました。

カナダで過ごした12日間は、常に新しい発見や驚きの連続でした。また、これからの生き方に大きく影響を与える出来事もたくさんありました。その一つ目は、自分の今の英語の実力が分かったことです。

相手の言おうとしていることは理解できるのですが、伝えたいことがうまく英語で表現できず、もどかしく感じることもありました。そんなときは、知っている単語を使ったり、ジェスチャーを使ったりしてコミュニケーションを取りました。英語でのコミュニケーションをスムーズにとれるように、まだまだ学ばなくてはならないことがたくさんあると実感しました。

二つ目は、ホストファミリーとの交流で、カナダの自然や文化に触れたことです。また、毎日の生活の何気ない会話でも、日本との考え方の違いを感じることもありました。例えば、ホストマザーから言われた「母親を女王様のように扱いなさい。だって、洗濯も料理もしてくれるんだから。」という言葉です。日本では耳にすることのない言葉なので、心に残っています。

研修を終えてみると、不思議と自分が一回り大きく成長した気がしました。それは、多様な価値観が生まれたからであり、自分に自信が付いたのと同時に今後の課題もはっきりしたからだだと思います。海外研修の貴重な体験を、今後の生き方や進路に必ず役立てていきたいと思っています。

「カナダでの体験」

大場万里子(県立新庄北高等学校1年)



私は今回の海外研修に参加して、2つのことを学びました。

一つ目は英語についてです。研修に行く前、言葉が通じないということが一番不安でした。カナダに着いてからも、初めは英語を聞き取れないし、自分から話しかけることもできなくて少し落ち込みました。しかし、ホストファミリーがゆっくり話してくれたり、たくさん話しかけてくれたりしたことで、英語に慣れていって少しずつ聞き取れるようになっていき、うれしかったです。聞き取れるようになったことで少し自信が付き、自分からも英語を話すようになりました。ネイティブの英語に囲まれて12日間暮らして、学校では学べない英語の表現を体験できました。まだまだ英語を話せるというレベルではないのですが、カタコトでも英語を話すのが楽しいと感じました。これからももっと英語を勉強していきたいです。

二つ目は人々のあたたかさです。ホストファミリーが、毎日のようにいろいろな所に連れて行ってきて、買い物をしたり、たくさん写真を撮ったりしてカナダを満喫出来ました。私の誕生日にはクラスメイトやホストファミリーなど、みんなが祝ってくれてとてもうれしかったです。カナダの人たちは、よく知らない私のことをもてなし、たくさん話しかけてくれました。そのおかげで英語に慣れ、カナダが大好きになりました。

今回の研修で、12日間という短い期間でしたが海外で暮らしてみても、たくさんのことを学び、日本では体験できないようなことを体験しました。また、カナディアンパディや日本人の他県の人と仲良くなりました。その友達やホストファミリーとは連絡をとりあっていて、メールでは英語を使うので、これからも少しずつ英語力を磨いていけると思います。いつかまた、ホストファミリーや友達に会いにカナダに行きたいです。

広い世界を感じる事ができたこの経験を、これからは生かしていきたいと思っています。

「初めての海外研修で学んだこと」

尾形 知世(県立新庄南高等学校1年)



私は中学生のときに研修に参加した高校生の先輩の発表を聞いて、高校生になったら私も参加したいとずっと思っていました。しかし、カナダに行く日が近づくにつれて、少しずつ不安がわいてきました。うまく会話ができるのか、違った生活や食文化に対応できるのか、はじめてのホームステイで心配に思うことがたくさんありました。しかし、その不安は、カナダに着いてホストファミリーのみんなに会うと、すぐに小さくなりました。

私がカナダに行って学んだこと、印象に残ったことは2つあります。

一つ目は現地の人の温かさやフレンドリーさです。ホストファミリーはもちろん、お店の店員さんも、気軽に親切に話しかけてくれました。初対面でも気を使ってゆっくり話してくれたり、簡単な言葉に言い換えてくれたりする親切さが、とても印象的でした。私がすぐに不安を克服できたのも、カナダの人の親切さやフレンドリーさがあったからだだと思います。

二つ目は、生活や食文化の違いです。カナダは日本より日没が遅いので、夕食を食べた後に外に出掛けたり、遊びに行ったりすることが多かったです。また、食文化は、量が多いことや肉中心の食文化だったことにも驚きましたが、作る食事の量に比べ、残す量も多いことに驚き、日本とは違った感覚があることが印象に残っています。

カナダで過ごした12日間、私はとても充実した日々でしたが、うまく会話ができず悔しい思いをすることもたくさんありました。このカナダでの経験から、もっと英語を勉強したいと思うことができ、英語への意欲をさらに高めることができ、本当に良い経験になりました。この海外研修で体験したこと、感じたことを忘れずに、これからの生活に活かしていきたいと思っています。

また、成長した姿をホストファミリーに見てもらいたいと思っています。